

STEP01
この単元で育成を目指す資質・能力を明確にしたうえで、単元の目標を設定します。
(学習指導要領解説社会編 P182,183 を参照)

育成を目指す資質・能力

学びに向かう力、人間性等

日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に
そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、
多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対
する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さ
についての自覚などを深める。

知識及び技能

我が国の国土及び世界の諸地域に
関して、地域の諸事象や地域的特色
を理解するとともに、調査や諸資料
から地理に関する様々な情報を効果
的に調べまとめる技能を身に付ける
ようにする。

思考力、判断力、表現力等

地理に関わる事象の意味や意
義、特色や相互の関連を、位置や
分布、場所、人間と自然環境との
相互依存関係、空間的相互依存作
用、地域などに着目して、多面
的・多角的に考察したり、地理的
な課題の解決に向けて公正に選
択・判断したりする。

単元の目標

- 世界各地で顕在化している地球的課題は、それがみられる地域の地域特色の影響を受けて、現れ方が異なること、及び、北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解する。
北アメリカ州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。
世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。

STEP02-①
単元の評価規準を設定します。

単元の評価規準

STEP04
資質・能力の育成に向けた1時間ごとの学習活動を設定します。

Table with 3 columns: 知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度. It details learning objectives and evaluation standards for each category.

【課題把握】動機付け / 方向付け

STEP03
単元を貫く学習課題と、「めあて」となる各時間の問いを設定します。

【単元を貫く課題】 アメリカ合衆国のSDGs達成に向けての課題を見つけよう。

アメリカが世界に与えている影響力の大きさに気づき、その要因を追究しようとする意欲を持つ。

- 1. 地形図、雨温図、写真等の資料から北アメリカ州の自然環境を概観させ、またアメリカ合衆国は、さまざまな人種や民族の人々が集まっている国であることを理解する。

【問い】

- 北アメリカ州に暮らす人々の生活を、資料をもとに考えよう。
・広大な面積を持ち、様々な地形のみられる国土の中で、多くの気候が見られることを雨温図から読み取り、前小単元で学習した中国とも比較しながら北アメリカでの暮らしを理解する。
・皮膚の色などの違いから多くの移民を受け入れて構成されている社会であり、日本の社会と比較して違いを理解する。
○北アメリカ州の位置と自然環境を大観し、北アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。(知識・技能)
●アメリカ合衆国の都市生活や文化の特色について、日本の生活や文化との結びつきの視点から考察し、その内容を表現している。(思考・判断・表現)

- 2. 経済力世界一位であるアメリカ合衆国のSDGsの達成度を知り、そこから単元を貫く課題設定を行う。

【問い】

- アメリカ合衆国は、なぜ経済力で世界1位になることができたのだろう。
・前時の国土の広さや様々な気候がみられることから、農業生産が盛んであることに気付く。
・「GAFA」などのIT関連企業の世界進出が著しいことから工業が盛んであることに気付く。
・多民族国家であり、様々な人々を受け入れていることが、経済力向上につながっていることに気付く。
・アメリカ合衆国のSDGs達成度ランキングから生徒のイメージとのギャップが生まれ、課題設定につなげている。
○国土の広さや気候を生かした農業や、IT企業の進出など触れ、多面的・多角的に表現している。(思考・判断・表現)
●アメリカ合衆国の地球的課題解決に向けた取組結果から、そこに至った原因を主体的に追究しようとしている。(主体的態度)

課題 アメリカ合衆国のSDGsの17の項目から課題であると感じられる項目を選び、その原因について考えよう。

見方・考え方を働かせている生徒の姿

【位置や分布 場所】

- アメリカ合衆国は日本をはじめ諸外国に影響を与えていることを実感したうえで、世界で取り組んでいるSDGs達成率を知り、なぜそうなったのかという疑問を持ち、意欲的に調べ学習に向かおうとする姿。

【課題追究】情報収集 / 考察・構想

課題解決に向けて、農業・工業・歴史の3つの視点からアメリカの地域的特色について調べ、考察する。

- 3. 選んだ視点について、アメリカの地域的特色を調べる。(グループ活動)

【問い】

- 選んだテーマにそってアメリカ合衆国の特色を調べよう。
・選んだテーマにそって、教科書や資料集からアメリカ合衆国の特色を読み取れる資料を選び、問いと関連させながら解釈した事柄を聞き手に伝えるように表現する。
○アメリカ合衆国でみられる地域的課題の要因や影響を地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。(思考・判断・表現)

- 4. 課題解決を行う。(グループ活動)

【問い】

- よりよい社会の実現をめざすためにアメリカ合衆国が解決しないといけない課題を見つけよう。
○アメリカ合衆国の課題について、そのような課題が生じる要因を、自然環境や社会環境との関わりから考察し、表現している。(思考・判断・表現)
●世界に視野を広げ、よりよい社会の実現をめざすためにアメリカ合衆国が解決しないといけない課題を追究しようとしている。(主体的態度)

- 5. 調べた内容の特色の部分だけ発表する。

他の班の意見を参考にし、自分の班の課題解決の見直しや追加を行う。

【問い】

- 他の班の発表の内容を活用して、項目を1つ選び、達成率の低い理由を考えよう。
・3つの視点の発表を総合して、共通点を見出し、課題解決に結び付けたり、1つの視点の発表から特に達成率の低さに影響を与えている内容を掘り下げて課題解決につなげたりしながら考え、表現している。
●アメリカ合衆国が解決しないといけない課題を他の班の意見を参考に追究しようとしている。(主体的態度)

各時間の評価規準を設定します。評価規準に照らして学習状況を把握し、毎時間の授業で適宜指導を行うことは、育成を目指す資質・能力を育むためには不可欠です。設定の際には、○評定に用いる評価、●学習改善につなげる評価に留意してください。

【人間と自然環境との相互依存関係 空間的相互依存作用 場所 位置や分布】

- アメリカ合衆国の地域的特色について、規模の大きさや技術の進歩などを理解し、SDGs達成率の低い項目に着目しながら原因を追究し調べようとしている姿。
・発表内容に説得力を持たせる資料を選び、課題解決に向けて、聴いている側に伝えるようなまとめ方をしようとしている姿。

【課題解決】【新たな課題】まとめ / 振り返り

アメリカ合衆国における課題について、SDGs達成度をもとに既習事項を活用しながら表現する。

- 6. 単元を貫く課題に対する自分の考えをまとめ、単元の振り返りを行う。

【問い】

- 「アメリカ合衆国のSDGs達成度が予想よりも低い理由」について、産業・工業・歴史などに着目し発表しよう。
○調べた内容を活用しながらSDGs達成に向けて多面的・多角的に考察し、表現できる。(思考・判断・表現)
○アメリカ合衆国の地域的特色を理解し、表現の場にふさわしい事項を選び活用してSTEP02-②(技能)
単元の評価規準を基に育成を目指す資質・能力が身に付いている子どもの姿や、引き出した子どもの振り返りの記述を設定します。

【予想される生徒の具体的な表現】

- (下の数字は、SDGsの項目を指す)
・10: 世界に影響力があるアメリカ合衆国がアメリカファーストの考えでいくと、他国の利益よりもアメリカ本国の利益を優先することで国同士の格差が広がってしまう。
・10: 安い賃金の国で生産し、収入を自国のものとすることで国同士の格差が広がってしまう。
・10: 人種差別が残っていることによって、社会的・経済的・政治的に取り残されている人たちがおり、不平等が国内にみられている。
・12: 大量廃棄物が環境に害を与えている。
・12: 農業や化学肥料の開発、遺伝子組み換え作物などの研究を進めることで自然環境に与える害よりも大量生産を目的に生産をしている。
・12: 国土が広く適地適作で大量生産が行われている。そこでは機械化が進み農業や化学肥料が多く使われ、またバイオテクノロジーによって遺伝子組み換え作物も増えている。安全面から見ても課題がある。
・15: 大規模な農業は大量の水を必要とし、環境への影響が心配される。人間だけではなく、そこに住んでいる動物にも影響を与える。
・15: 大量の水の使い過ぎで、地下水の枯渇や地力の低下など、環境に大きな影響を与えている。

本単元終了時の目指す生徒の具体的な姿

- アメリカ合衆国が、SDGs達成度の低い部分がある理由を、ここまで学んだ内容を活用しながら説明できている姿。
・アメリカ合衆国の現状を日本と比較したり、SDGs達成に向けて大切な考え方を記述したりしている姿。

【予想される生徒の振り返りの表現】

- 世界に影響力があるからこそ、自国の利益を優先することはばかりではなく、他の国にも利益になることを考えることが大事と思う。
・日本も先進国の一つなので、経済面ではアメリカと似ている部分があると思うので、もっと他の国に貢献できることを考えるといい。
・日本では当たり前のように水をたくさん使っているが、環境への影響も考えながら水を使うことが大切である。

STEP05
子どもの「振り返り」から、教材研究や、各時間における教師の手立てを振り返り、次の時間や単元にフィードバックさせます。

【地域】

- アメリカ合衆国が、SDGs達成度の低い部分がある理由を、ここまで学んだ内容を活用しながら説明できている姿。
・アメリカ合衆国の現状を日本と比較したり、SDGs達成に向けて大切な考え方を記述したりしている姿。

本単元

- (高) 地理歴史科(地理総合)
B(1)生活文化の多様性と国際理解
◆世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

主な資質・能力の系統

- (小) 第5学年
(1) 我が国の国土の様子と国民生活
◆世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。

- (小) 第6学年
(3) グローバル化する世界と日本の役割
◆外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現すること。

- (中) 第1学年
A(1) ①世界の地域構成
◆世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。
B(1) 世界各地の人々の生活と環境
◆世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。